

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

Hiroki Homma  
Filed 10/10/01  
Q66535  
1 of 1

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年10月10日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-309384

出 願 人

Applicant(s):

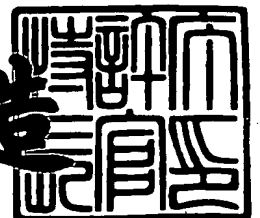
日本電気株式会社

1c997 U.S. PTO  
09/973040  
10/10/01

2001年 8月17日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3074355

【書類名】 特許願

【整理番号】 51105787

【提出日】 平成12年10月10日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04Q 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

【氏名】 本間 宏樹

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100088328

【弁理士】

【氏名又は名称】 金田 暢之

【電話番号】 03-3585-1882

【選任した代理人】

【識別番号】 100106297

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 克博

【選任した代理人】

【識別番号】 100106138

【弁理士】

【氏名又は名称】 石橋 政幸

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 089681

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9710078

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 メディア試視聴サービスおよびメディア試視聴サービスシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 音声または映像を記録している記録媒体を販売する販売店の店内で、顧客が記録媒体を購入する前に、記録媒体の記録内容を当該顧客に試視聴させるサービスを提供するメディア試視聴サービスシステムにおいて、

配信親端末と、配信子端末と、再生端末と、前記配信親端末と前記配信子端末とを接続するネットワークとを備え、それぞれの配信子端末と再生端末とは無線リンクによって接続され、

前記配信親端末は、前記音声または映像のデータベースを有し、該データベースの記録内容を音声または映像データとして前記配信子端末に配信し、

配信子端末は前記販売店に設置されていて、配信親端末から配信された音声または映像データを蓄積し、前記再生端末からのアクセスに応答して、該音声または映像データを、前記無線リンクを介して、当該販売店内にある再生端末へ配信し、

前記再生端末は、顧客が希望する音声または映像に該当する音声または映像データを指定して前記配信子端末をアクセスし、該アクセスに応答して、前記無線リンクを介して配信子端末から配信された音声または映像データを音声または映像に再生する

ことを特徴とする、メディア試視聴サービスシステム。

【請求項 2】 前記再生端末は、無線リンクに接続するための無線インタフェースと、音声データおよび映像データの双方または一方を再生する再生装置と、顧客が希望する音声または映像を指定し、または、表示するマンマシンインタフェースを有する請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】 前記再生端末は、再生された音声または映像を保存する記憶部を有する、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】 前記記憶部は、リムーバブル記録媒体のドライブを有する。  
請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 5】 前記無線リンクは同報機能を有する、請求項 1 に記載のシス

テム。

【請求項 6】 音声または映像を記録している記録媒体を販売する販売店の店内で、顧客が記録媒体を購入する前に、記録媒体の記録内容を、無線によって、顧客または販売店が所有する再生端末に受信して顧客に試視聴を行わせるメディア試視聴サービス。

【請求項 7】 配信親端末と、配信子端末と、再生端末と、前記配信親端末と前記配信子端末とを接続するネットワークとを備え、それぞれの配信子端末と再生端末とは無線リンクによって接続され、前記配信親端末は、前記音声または映像のデータベースを有し、該データベースの記録内容を音声または映像データとして前記配信子端末に配信し、配信子端末は、前記販売店に設置されていて、配信親端末から配信された音声または映像データを蓄積し、前記再生端末からのアクセスに応答して、音声または映像データを、前記無線リンクを介して、当該販売店内にある再生端末へ配信し、前記再生端末は、顧客が希望する音声または映像に該当する前記音声または映像データを指定して前記配信子端末をアクセスし、該アクセスに応答して、前記無線リンクを介して配信子端末から配信された音声または映像データを音声または映像に再生する、メディア試視聴サービスシステムを構築し、

配信親端末は、識別情報が与えられた音声または映像を、音声または映像データとしてネットワーク経由で各配信子端末へ配信し、配信子端末は、配信親端末から配信された前記データを保存し、

次に顧客が試視聴を希望するときには、再生端末のいずれかを用い、対応する無線リンクを通して配信子端末に接続し、

次に顧客は、試視聴したい音声または映像の識別情報を選択し、該識別情報を再生端末に入力して配信子端末に対して当該音声または映像の試視聴要求を行い、配信子端末に配信されている音声または映像データのうち、当該識別情報によって選択された音声または映像データにアクセスし、

配信子端末は、そのアクセスに応答して、当該音声または映像データを再生端末に送信し、

再生端末は、受信した音声または映像データを音声または映像として再生する

請求項 6 に記載のメディア試視聴サービス。

【請求項 8】 顧客が配信子端末に対して音声または映像の試視聴要求を行ったとき、配信子端末は、当該音声または映像データを保持している配信親端末のサイトにネットワークを通して接続して、顧客の要求する音声または映像の識別情報を当該配信親端末に転送し、次に当該配信親端末は、当該識別情報に対応する音声または映像データを配信子端末に送信し、配信子端末は、配信親端末から受信した音声または映像データを再生端末に転送する、  
請求項 7 に記載のサービス。

【請求項 9】 前記再生端末は、リムーバブル記録媒体のドライブを有し、顧客は試視聴によって希望する音声または映像を見つけたとき、その希望する音声または映像のみを当該リムーバブル記録媒体に保存してデータとして購入することができる、請求項 7 に記載のサービス。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、メディア試視聴サービスに関し、特に、CD や DVD 販売店などの店内で、顧客が購入する前に試視聴してみたい音楽や映像を試視聴することができる試視聴サービスに関する。以下の記述において、音声または映像（すなわち、音声および映像の両者または一方）をメディアと記す。また、音声とは、音楽または会話等のように、芸術的または知識的内容をもつ音声情報である。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来のメディア試視聴サービスにおいては、顧客がメディア購入前にメディアの試視聴を行いたい場合に、他の顧客に占有されているために、顧客は、他の顧客の試視聴の終了を待つか、試視聴をあきらめることを余儀なくされていた。このことにより、顧客は、販売店を訪れ、興味を持ったメディアがあった場合にも、そのメディアを購入せずに終わる可能性があった。また、このような場合は、販売店側にとっても、そのような顧客への販売機会を逃すことになる。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、顧客が販売店を訪れた時に、試視聴したい試視聴用のCDやDVDを他人に占有されて試視聴できないということが無く、販売店内ならば場所を選ばずに希望する音声または映像を試視聴することができるメディア試視聴サービスおよびメディア試視聴サービスシステムを提供することにある。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明のメディア試視聴サービスシステムは、配信親端末と、配信子端末と、再生端末と、前記配信親端末と前記配信子端末とを接続するネットワークとを備え、それぞれの配信子端末と再生端末とは無線リンクによって接続され、

配信親端末は、音声または映像のデータベースを有し、該データベースの記録内容を音声または映像データとして配信子端末に配信する機能を有し、

配信子端末は販売店に設置されていて、配信親端末から配信された音声または映像データを蓄積し、再生端末からのアクセスに応答して、該音声または映像データを、無線リンクを介して、当該販売店内にある再生端末へ配信し、

再生端末は、顧客が希望する音声または映像に該当する音声または映像データを指定して配信子端末をアクセスし、該アクセスに応答して、無線リンクを介して配信子端末から配信された音声または映像データを音声または映像に再生する。

【 0 0 0 5 】

再生端末は、無線リンクに接続するための無線インタフェースと、音声データおよび映像データの双方または一方を再生する再生装置と、顧客が希望する音声または映像を指定し、または、表示するマンマシンインタフェースを有する。

【 0 0 0 6 】

再生端末は、再生された音声または映像を保存する記憶部を有することができる。この記憶部によって、顧客は、同じ音声または映像を繰り返し試視聴することができる。

【 0 0 0 7 】



記憶部は、リムーバブル記録媒体のドライブを有することができる。この場合には、顧客は、希望する音声または映像があったとき、その希望する音声または映像のみを当該リムーバブル記録媒体に保存して購入することができる。

## 【0008】

無線リンクは同報機能を有することができる。この場合には、無線リンクの同報機能を利用することにより、顧客乙は、顧客甲の試視聴しているメディアの進行部分から試視聴することができる。

## 【0009】

本発明のメディア試視聴サービスは、音声または映像を記録している記録媒体を販売する販売店の店内で、顧客が記録媒体を購入する前に、記録媒体の記録内容を、無線によって、顧客または販売店が所有する再生端末に受信して顧客に試視聴を行わせるサービスである。

## 【0010】

本発明のメディア試視聴サービスは、次のようなメディア試視聴サービスシステムの構築を前提とする。そのメディア試視聴サービスシステムは、配信親端末と、配信子端末と、再生端末と、前記配信親端末と前記配信子端末とを接続するネットワークとを備え、それぞれの配信子端末と再生端末とは無線リンクによって接続されている。

## 【0011】

配信親端末は、音声または映像のデータベースを有し、該データベースの記録内容を音声または映像データとして配信子端末に配信する。配信子端末は、販売店に設置されていて、配信親端末から配信された音声または映像データを蓄積し、再生端末からのアクセスに応答して、音声または映像データを、無線リンクを介して、当該販売店内にある再生端末へ配信する。再生端末は、顧客が希望する音声または映像に該当する音声または映像データを指定して配信子端末をアクセスし、該アクセスに応答して、無線リンクを介して配信子端末から配信された音声または映像データを音声または映像に再生する。

## 【0012】

このメディア試視聴サービスシステムを用いて、メディア試視聴サービスは次

のように行われる。

配信親端末は、識別情報が与えられた音声または映像を、音声または映像データとしてネットワーク経由で各配信子端末へ配信し、配信子端末は、配信親端末から配信された前記データを保存し、

次に顧客が試視聴を希望するときには、再生端末のいずれかを用い、対応する無線リンクを通して配信子端末に接続し、

次に顧客は、試視聴したい音声または映像の識別情報を選択し、該識別情報を再生端末に入力して配信子端末に対して当該音声または映像の試視聴要求を行い、配信子端末に配信されている音声または映像データのうち、当該識別情報によって選択された音声または映像データにアクセスし、

配信子端末は、そのアクセスに応答して、当該音声または映像データを再生端末に送信し、

再生端末は、受信した音声または映像データを音声または映像として再生する。

#### 【0013】

配信子端末は、ルーター機能を持つことができる。この場合には、顧客が配信子端末に対して音声または映像の試視聴要求を行ったとき、配信子端末は、当該音声または映像データを保持している配信親端末のサイトにネットワークを通して接続して、顧客の要求する音声または映像の識別情報を当該配信親端末に転送し、次に当該配信親端末は、当該識別情報に対応する音声または映像データを配信子端末に送信し、配信子端末は、配信親端末から受信した音声または映像データを再生端末に転送する。

#### 【0014】

再生端末は、リムーバブル記録媒体のドライブを備え、顧客は、試視聴によって、希望する音声または映像を見つけたとき、その希望する音声または映像のみを当該リムーバブル記録媒体に保存して購入することができる。

#### 【0015】

このサービスによって、顧客が販売店を訪れた時に、試視聴したい試視聴用のCDやDVDを他人に占有されて試視聴できないということが無く、販売店内ならば場所を選ばずに希望する音声または映像を試視聴することができる。また販

売店側にとっても、より多くの顧客にメディアを試視聴してもらうことによりメディアの販売量を増やす可能性を持つことができる。

【0016】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明のメディア試視聴サービスを実施するためのメディア試視聴サービスシステムの第1の実施形態の構成図である。

本実施形態のメディア試視聴サービスシステムは、配信親端末1と、配信子端末2-1～2-nと、再生端末3-1-1～3-n-m<sub>n</sub>とネットワーク4を備え、それぞれの配信子端末2-p (p=1, 2...n) と再生端末3-p-q (q=1, 2...m<sub>p</sub>) とは無線リンク5-pによって接続することができる。ネットワーク4は、配信親端末1と配信子端末2-1～2-nとを接続する。

【0017】

配信親端末1は、メディアのデータベースとしての役割を持つ。また、配信親端末1は、ネットワーク4を通して配信子端末2-1～2-nに音楽や映像などのメディアをデータとして配信する端末機能を有する。

【0018】

配信子端末2-p (p=1, 2...n) は、各販売店に設置され、無線リンク5-p (p=1, 2...n) を通し、同販売店内にいる顧客の持つ再生端末3-p-q (q=1, 2...m<sub>p</sub>) へメディアをデータとして配信するために用いられる。なお、配信親端末1から配信されたメディアは配信子端末2-1～2-nに記憶することができる。

【0019】

再生端末3-p-q (p=1, 2...n, q=1, 2...m<sub>p</sub>) は、顧客がメディアの試視聴を行うために用いられる。図2は、再生端末3-p-q (p=1, 2...n, q=1, 2...m<sub>p</sub>) における基本的機能構成のみを示すブロック図である。図2に示されているように再生端末3-p-qは、無線リンク5-pに接続するための無線インタフェース31を持ち、無線リンク5-pを通してネットワーク接続により配信子端末2-p内に蓄えられたメディアにアクセスすることができる。また、再生端末3-p-qは、所望の再生装置、例えば、スピー

カ32や映像再生装置33を含み、それによって所望のメディアの再生を行うことが可能である。マンマシンインタフェース34は顧客の希望するメディアを指定し、または、表示するために用いられる。

## 【0020】

ネットワーク4としては、インターネットや販売店が所有する専用線などが挙げられる。

メディアとしては、音楽、映像、ゲーム、ソフトウェアなどが挙げられる。

再生端末3-p-q ( $q=1, 2 \cdots m_p$ ) としては、PC、携帯電話、IP家電としてのオーディオヘッドフォン型再生端末などが挙げられ、各販売店が備えているものであっても、ユーザが所有しているものであっても良い。

## 【0021】

無線リンク5-1~5-nとしては、無線LAN、BlueToothなどが挙げられる。再生端末3-p-q ( $q=1, 2 \cdots m_p$ ) と無線リンク5-1~5-nとの接続形態としては、IP (インターネットプロトコル) 接続やPPP (ポイントトゥーポイントプロトコル) などが含まれる。

なお、無線LAN、BlueToothは公知であるので、ここでは説明を省く。

## 【0022】

次に、本実施形態の動作を説明する。

図3は、本実施形態の、メディア配信から再生までのシーケンスチャートである。

配信子端末2-1~2-nはネットワーク4を通して配信親端末1に接続されている。再生端末3-p-q ( $p=1, 2 \cdots n, q=1, 2 \cdots m_p$ ) は無線リンク5-p ( $p=1, 2 \cdots n$ ) を通して配信子端末2-p ( $p=1, 2 \cdots n$ ) に接続可能である。

## 【0023】

動作時には、まず配信親端末1は、配信子端末2-1~2-nに向けてネットワーク4経由で、メディアを識別するためのIDが与えられたメディア (ID1, ID2...IDx) をデータとして配信する。(図3のステップA1)。配信親端末1

によって配信されたメディアは配信子端末  $2-1 \sim 2-n$  に保存される（図 3 のステップ A 2）。

【 0 0 2 4 】

次に顧客は、再生端末  $3-p-q$  ( $q=1, 2 \cdots m_p$ ) のいずれか  $3-p-q$  を用い、対応する無線リンク  $5-p$  を通して配信子端末  $2-p$  に接続する（図 3 のステップ A 3）。次に顧客は、試視聴したいメディアの ID を選択し、再生端末  $3-p-q$  のマンマシンインタフェース 34 を用いて、選択したメディアの ID を入力し、配信子端末  $2-p$  に対してメディアの要求を行う（図 3 のステップ A 4）。次に顧客は、配信子端末  $2-p$  に配信されているメディアのうち、ID によって指定されたメディアにアクセスする。そのアクセスに応答して、当該メディアはデータストリームとして再生端末  $3-p-q$  に送信される（図 3 のステップ A 5）。次に顧客は、再生端末  $3-p-q$  のスピーカ 32 や映像再生装置 33 によって受信したデータをメディアとして再生することにより、試視聴を行うことができる（図 3 のステップ A 6）。

なお、再生端末  $3-p-q$  ( $q=1, 2 \cdots m_p$ ) は、メディアの種類によって必ずしもスピーカ 32 と映像再生装置 33 の両者を同時に持つ必要はない。

【 0 0 2 5 】

次に、本発明の第 2 の実施形態を説明する。

図 4 は、本実施形態の再生端末の構成を示すブロック図である。

本実施形態においては、再生端末  $3-1-1 \sim 3-n-m_n$  のどれかが図 4 に示されている記憶部 35 を備えている。それによって、顧客は、データストリームによる試視聴に加え、再生端末の記憶部 35 にデータとして蓄えられたメディアを繰り返し試視聴することができる。

【 0 0 2 6 】

次に、本発明の第 3 の実施形態を説明する。

本実施形態においては、第 1 の実施形態において、顧客が再生端末  $3-p-q$  を用いて無線リンク  $5-p$  を通して配信子端末  $2-p$  に接続したときに（図 3 のステップ A 3）、配信子端末  $2-p$  が再生端末  $3-p-q$  に対して、試視聴することができるメディアの一覧を送信する処理手順が付加されている。それによって

、顧客は、その中から試視聴したいメディアを指定して（図3のステップA4）試視聴することができる。

再生端末3-1-1～3-n-m<sub>n</sub>上でのメディアの一覧表示の実施例として、再生端末3-1-1～3-n-m<sub>n</sub>がWebブラウザを持ち、該Webブラウザによって表示されたメディアには各IDが対応している。顧客が特定のメディアに対応するIDを選択すると、再生端末3-1-1～3-n-m<sub>n</sub>は当該IDに対応するメディアを受信することができる。

#### 【0027】

次に本発明の第4の実施形態を説明する。

本実施形態においては、配信子端末2-1～2-nがルーターとしての役割を果たす。それによって、顧客は、直接配信親端末1から供給されたメディアの試視聴を行うことができる。

図5は、本実施形態の、メディア配信から再生までのシーケンスチャートである。

まず顧客は、再生端末3-p-qを用い、対応する無線リンク5-pを通して配信子端末2-pに接続する（図5のステップB1）。次に顧客は、試視聴したいメディアのIDを選択し、再生端末3-p-qのマンマシンインタフェース35を用いて選択したメディアのIDを入力し、配信子端末2-pに対してメディアの要求を行う（図5のステップB2）。

#### 【0028】

次に配信子端末2-pは、配信親端末1にネットワーク4を通して接続する（図5のステップB3）。次に配信子端末2-pは、顧客の要求するメディアIDを配信親端末1に転送する（図5のステップB4）。

次に配信親端末1は、IDに対応するメディアを配信子端末2-pに送信する（図5のステップB5）。次に配信子端末2-pは、配信親端末1から受信したメディアを再生端末3-p-qに転送する（図5のステップB6）。なお、配信子端末2-pは、メディアを再生端末3-p-qに転送する際に、一旦メディアを内部に蓄積することもできるし、データストリームとして転送することもできる。

次に顧客は、配信子端末 2 - p から受信したデータを再生端末 3 - p - q 上でメディアとして再生する。このようにして、メディアの試視聴を行うことができる（図 5 のステップ B 7）。

## 【 0 0 2 9 】

本実施形態においては、配信子端末 2 - p は配信親端末 1 からメディアの配信を受ける場合について説明したが、配信親端末 1 は特定の配信親端末である必要はない。配信子端末 2 - p は、顧客が指定する ID に対応するメディアを蓄積している任意のサイトを配信親端末として、メディアのダウンロードを要求することができる。

## 【 0 0 3 0 】

次に、本発明の第 5 の実施形態を説明する。

## 【 0 0 3 1 】

本実施形態においては、顧客乙が試視聴の為に選択したメディアを、顧客甲がすでに試視聴している場合に、無線リンク 5 - 1 ~ 5 - n の同報機能を利用することにより、顧客乙は、顧客甲の試視聴しているメディアの進行部分から試視聴することができる。この場合には、無線リンク 5 - 1 ~ 5 - n が IP 接続などによる同報機能を持っているものとする。

## 【 0 0 3 2 】

また、複数の顧客が同じ ID を持つメディアにアクセスしたときには、後からアクセスした顧客は、最初にアクセスした顧客が現在試視聴しているメディアの同じ部分から、当該メディアを共有することができる。このことによって、販売店側は無線リンク 5 - 1 ~ 5 - n に対する周波数の有効利用を行うことができる。

## 【 0 0 3 3 】

次に、本発明の第 6 の実施形態を説明する。

本実施形態は、前掲の第 2 の実施形態において、顧客が試視聴した後、顧客が希望すればメディアをデータとして購入することができるサービス形態である。この実施形態においては、図 4 のように再生端末 3 - 1 - 1 ~ 3 - n - m<sub>p</sub> が記憶部 3 5 を備え、その記憶部 3 5 にリムーバブル記憶媒体のドライブが設けられて

いる。

【0034】

まず顧客は、顧客の持つ再生端末 3-p-q に無線リンク 5-p を通して配信子端末 2-p からメディアを受信する。このとき、受信メディアは、再生端末 3-p-q の記憶部 35 のリムーバブル記憶媒体に保存される。次に顧客は、再生端末 3-p-q を用いてメディアを再生する。次に顧客は、顧客の希望によって、再び同じメディアを受信することなく、記憶部 35 のリムーバブル記憶媒体に蓄積されたメディアを購入することができる。

【0035】

なお、顧客が受信したメディアを不当に所有しないための対策としては、メディアは一部不完全（情報の欠落など）であるか、一部にスクランブルがかかっているか、複数回の再生でそれ以上再生できなくするなどの方法が挙げられる。

顧客は、購入の際に、情報欠落部分の補完、スクランブル解除のパスワードの受け取り、再生回数制限の解除などが必要となる。

また、顧客が購入する方法の例として、前掲の第 3 の実施形態のように、購入のためのメニューが Web 形式で再生端末 3-p-q に送られ、そのメニューがマンマシンインタフェース 34 に表示される。顧客は、マンマシンインタフェース 34 に表示された指示に従って購入したり、直接販売店のレジに再生端末 3-p-q を持って行って購入する方法が挙げられる。

【0036】

このサービスにより、顧客は試視聴して気に入ったメディアをすぐに購入することができる。また、通常インターネットを通してメディアを購入する場合には、メディアの代金とインターネットへの接続料がかかり、また各家庭からインターネットにアクセスする場合には、回線速度が十分ではない場合が多い。

しかし、本発明のサービスでは、販売店内の無線リンク 5-1 ~ 5-n を通してメディアの受信を行うので、受信の際の接続料は必要ないようにすることが可能である。また、受信速度も高速にすることができる。

【0037】

【発明の効果】



本発明で述べたサービスにより、CDやDVD販売店などの店内で、顧客は、試視聴したいメディアがある場合に、他の顧客に占有されることにより試視聴できないということがなく、また無線を用いることにより、店内で場所を選ばずに、顧客の持つ再生端末を用いて、希望するメディアの試視聴を行うことができる。

【0038】

また販売店側にとっては、より多くの顧客にメディアを試視聴してもらうことによりメディアの販売量を増やす可能性を持つ。また、販売店内の設けられた試視聴コーナー自体も不必要になり、店内のスペースを有効利用できる可能性も持つことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明のメディア試視聴サービスシステムの構成図である。

【図2】

本発明の第1の実施形態の再生端末の機能ブロック図である。

【図3】

第1の実施形態の、メディア配信から再生までのシーケンスチャートである。

【図4】

本発明の第2の実施形態の再生端末の構成を示すブロック図である。

【図5】

第4の実施形態の、メディア配信から再生までのシーケンスチャートである。

【符号の説明】

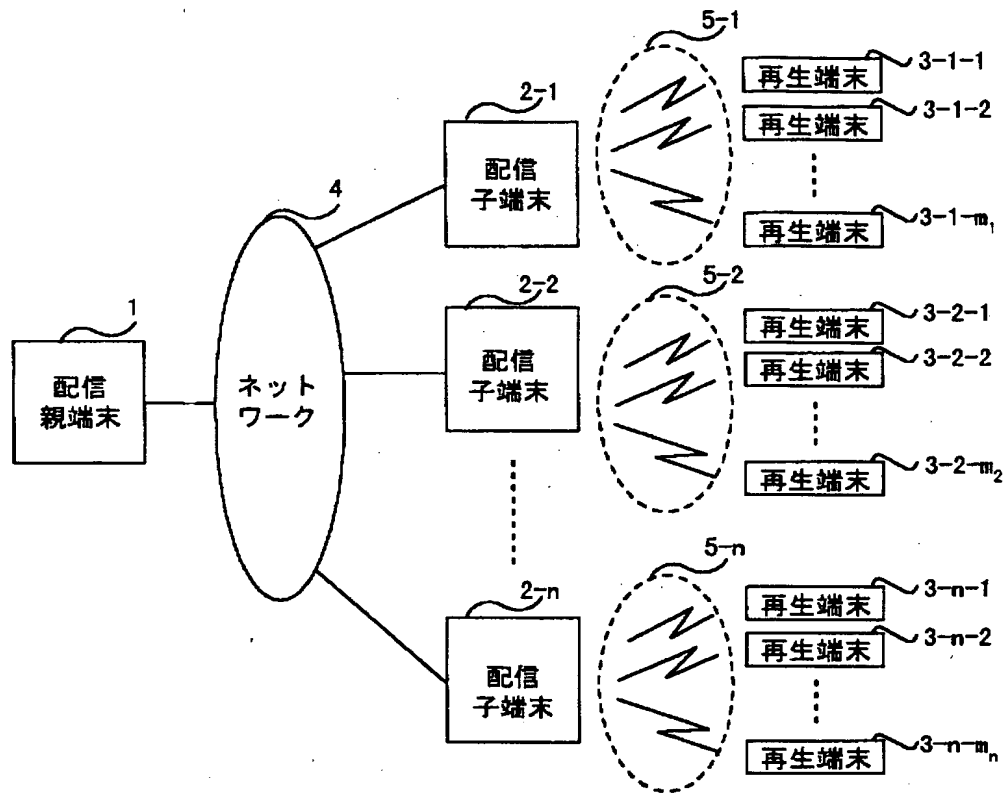
- 1 配信親端末
- 2 (2-1~2-n) 配信子端末
- 3 (3-1-1~3-n-m<sub>n</sub>) 再生端末
- 4 ネットワーク
- 5 (5-1~5-n) 無線リンク
- 31 無線インタフェース
- 32 スピーカ

- 3 3 映像再生装置
- 3 4 マンマシンインタフェース
- 3 5 記憶部

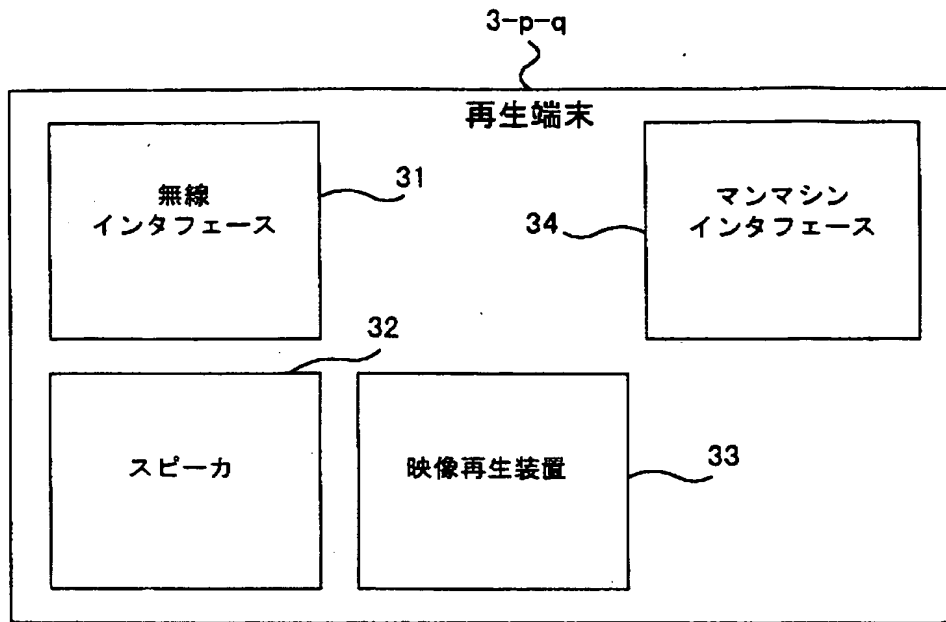
【書類名】

図面

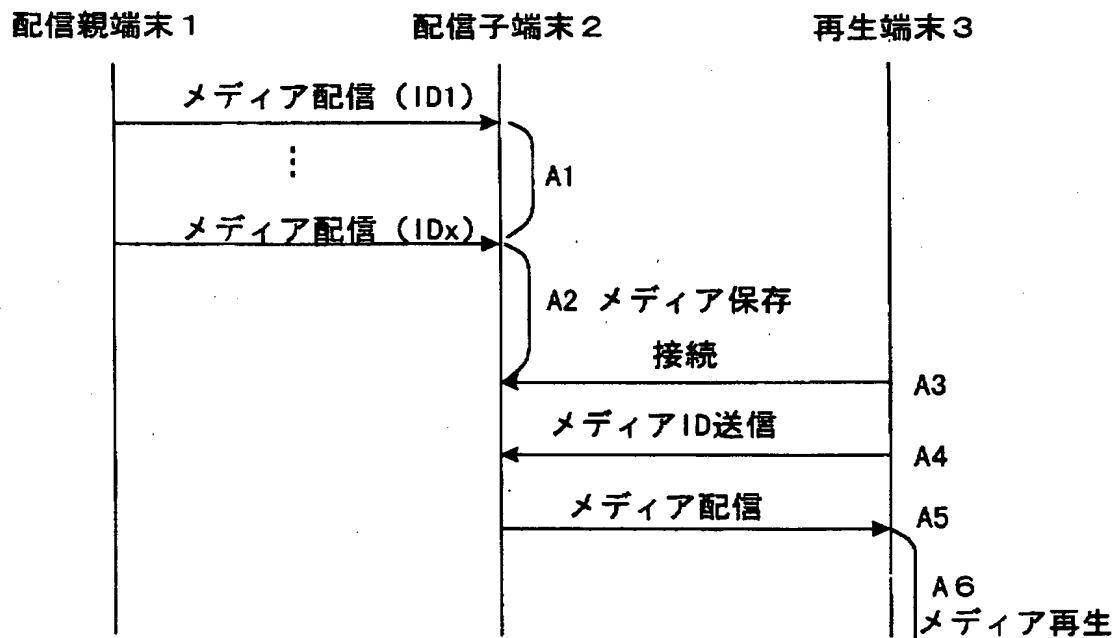
【図 1】



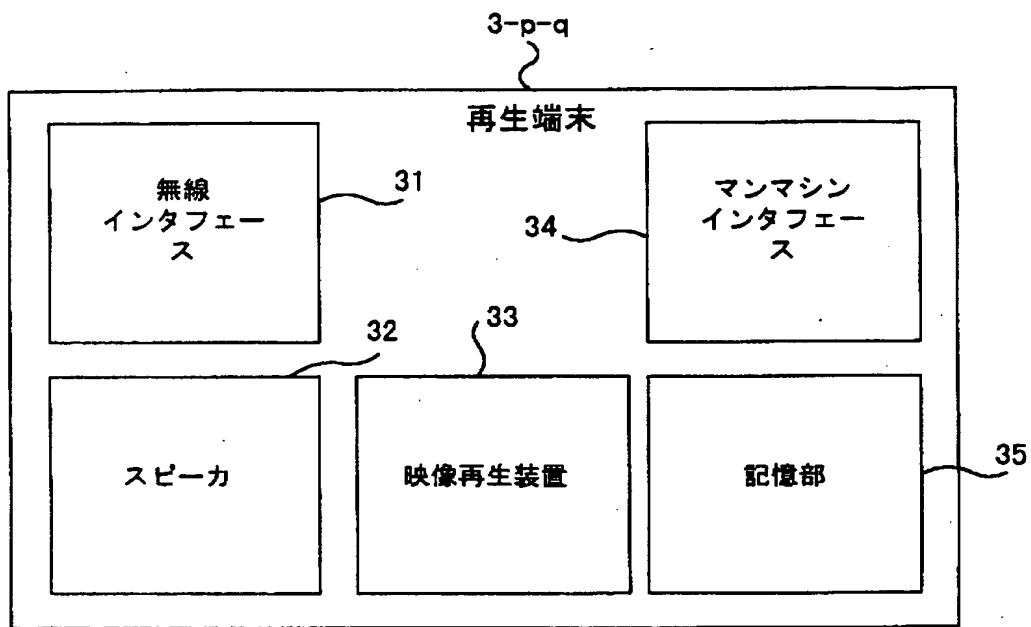
【図 2】



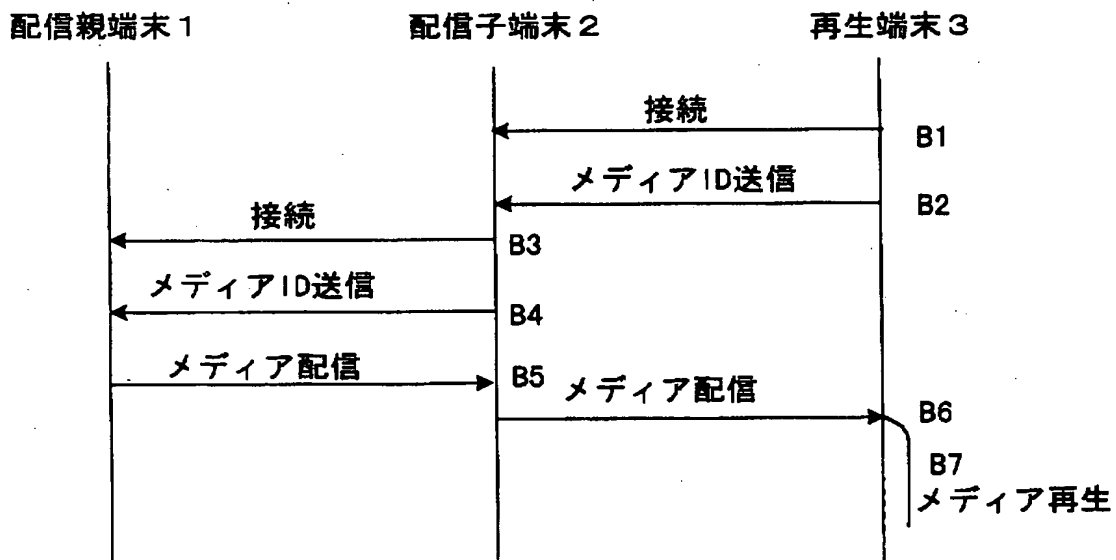
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 音楽または映像メディア販売店内で、希望する音楽または映像を試視聴することができるメディア試視聴サービスシステムを提供する。

【解決手段】 配信親端末と、配信子端末と、再生端末と、配信親端末と配信子端末とを接続するネットワークとを備え、配信子端末と再生端末とは無線リンクによって接続されている。配信親端末は、音楽または映像のデータベースを有し、該データベースの記録内容を音楽または映像データとして配信子端末に配信する。配信子端末は販売店に設置されていて、配信親端末から配信された音楽または映像データを蓄積し、再生端末からのアクセスに応答して、該データを、無線リンクを介して再生端末へ配信する。再生端末は、顧客が希望する音楽または映像に該当する音楽または映像データを指定して配信子端末をアクセスし、無線リンクを介して配信子端末から配信された音楽または映像データを再生する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都港区芝五丁目7番1号  
氏 名 日本電気株式会社